

高志台

学園だより



CONTENTS

入学おめでとう	02
新入生を迎えて	03-04
新入生学級担任からのメッセージ	05-06
新入生のための施設紹介	07
2015行事予定	08-09
学生会長・寮長から新入生へのメッセージ	10
学生会役員紹介,学生会役員からのメッセージ	11
各クラブから一言メッセージ	12-13
専攻科だより	14
平成27年度第1学年入学者選抜実施報告	15
TOPICS	15-16

Vol.186

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, NAGAOKA COLLEGE
KOSHI-DAI GAKUEN DAYORI

高志台(こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“このくに”(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」
と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology, Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

入学おめでとう



校長 渡邊 和忠

新入生の皆さん、入学おめでとう。長岡工業高等専門学校の教職員および在校生を代表して皆さんを心から歓迎します。保護者並びにご関係の方々と共に皆さんの入学をお祝いできることを大変、嬉しく思っています。

今年度、一年生として211名を、三年、四年への編入生として9名を、本校にお迎えしました。この中には6名の留学生も含まれています。また、専攻科には30名が進学し、総勢250名が新たに本校の一員として共に学ぶことになりました。

新入生の皆さんは、今日から長岡高専の学生として新しい出発点に立っています。期待に胸を膨らませていることでしょうか。不安を感じているかも知れません。私たち教職員は、保護者や関係の方々と共に協力して、皆さんを優れた技術者として、また立派な人間として育てることに全力を尽くします。高専は、技術者としての考え方や知識、能力を身に付け、将来に渡って専門の知識や技術を自由自在に使いこなすことのできる人材を育成するための高等教育機関です。高専の多くの教員は博士の資格を有し、研究を行い、学会で発表し、権威のある学術雑誌に論文を掲載しています。高専では、第一線で研究している教員が技術者として必要なことを一から教え、皆さんが卒業・修了する頃には必要な知識や能力が身につけられるように様々な工夫がなされています。直ぐに専門のことが学べると思って中学校から入学した皆さんは、最初は中学や高校とあまり変わらない授業が多く、がっかりするかも知れません。しかし、がっかりすることはありません。高学年になるほど専門の講義や実習が増えて行きます。何故でしょう。技術は技能とは異なります。技能は知識がなくても同じことを何度も繰り返しているうちに上達して行きます。しかし、技術には技能に加えて知識が必要なのです。中学校で学んだ基礎的な知識だけでは足りないのです。必要な基礎知識をもっていなければ専門のことは理解できません。専門知識や技術を使いこなすことなど到底できません。広い視野も必要です。そのために低学年でまず基礎知識や教養をしっかりと身につけるのです。高学年になると研究室に配属され、教員と共に研究を行ないます。専攻科では、多くの専攻科生が自ら第一線の研究を行ない、大学院生や大学の教授に混じって学会で発表します。日本の学会だけでなく国際学会で受賞する学生もいます。専攻科生が世界的に権威ある学術雑誌の著者になることもあります。その時になれば、これまで学んだ基礎知識や専門知識・技術が役立つ

と実感することでしょう。しっかりとした基礎知識や専門知識を持っていれば、新たなものを作り出す能力や創造性を発揮することが出来るようになります。その場限りの一夜漬けの勉強では身に付きません。社会にでると更に本当の力が試されます。将来を見据えて研鑽を積み、本当の実力を身に付けて下さい。

技術者に求められる能力は、専門知識や技術だけではありません。他の人たちと協働してものを創り上げる能力、自ら考え正しく行動する力、新しいことにチャレンジする前向きな態度、また社会ではマナーや人を思いやる気持ちも大切です。即ち、人間として総合的な力が必要です。このような能力や態度は授業だけでは身につけることができません。勉強だけでなく、課外活動、インターンシップやボランティアなどの社会活動に積極的に参加し、自ら能力を高めて下さい。希望すれば海外に行くことも可能です。長岡高専には多くの留学生がいます。是非、留学生と積極的に交流し、海外派遣研修や海外インターンシップに参加して下さい。互いに高め合うことのできる友人を作ることでも大切です。長岡高専では体育祭や文化祭は学生が企画し運営します。寮の運営も寮生が行なっています。長岡高専には皆さんを縛る規則は殆どありません。自ら考え行動することによってのみ本当の力をつけることができるからです。様々な活動に積極的に参加して人間として総合的な力を身に付けて下さい。私たち教職員は皆さんをしっかりとサポートして行きます。

高専の勉学は受験のためではありません。皆さんは殆ど受験勉強する必要はありません。その代わり、大きな志を持って、しっかりとした目標を立てて勉学に励み、また自らの能力を高めることが求められます。人に言われたことだけやっていると、良い人生を歩むことは出来ません。皆さんの先輩は、本校のキャンパスが位置するこの地を「高い志を育む丘」と云う意味を込めて「高志台」と名付け、自ら日々の研鑽に励んできました。そして、社会で活躍し、高い評価を得てきました。新入生の皆さんは、先輩の想いを受継ぎ、これから過ごす長岡高専での数年間、充実した日々を過ごして下さい。

長岡高専は「人類の未来をきりひらく、感性豊かで実践力のある創造的技術者」の育成を目指しています。皆さんが入学した後のあらゆる活動は、この教育理念を実現するために考えられています。皆さんが、将来、優れた技術者として活躍できるように、私たち教職員、保護者、関係する全ての人たちで支えていきます。安心して自らを磨くことに専念して下さい。

結びにあたり、新入生の皆さんのこれからの学生生活が、本当に充実したものとなりますよう心から祈念致します。

新入生を迎えて



さあ、多いに失敗しよう

副校長（総務主事） 荒木 信夫

新入生、編入生の皆さん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。これから始まろうとしている高専生活に期待と不安をいただいているはずですが、案ずるより産むが易し。思い切って高専生活のドアを開けてください。

私が5年生の就職活動支援を担当していたときに企業の方から大変印象深い言葉を聞きました。私はその方に「企業ではどのような学生を求めていますか?」と尋ねました。その方の答えはこうでした。「学生時代に失敗をたくさん経験した学生さんを採用したいです。」不思議に思った私はその理由を聞きました。「社会に出ると失敗の連続ですけど、失敗に負けない人は、いつかは会社にとって貴重な戦力になります。学生時代の失敗の数で人間としての大きさや強さが決まりますね。」

目的を達成するためには、成功するためには、まず行動を起さなければなりません。挑戦しなければなりません。そして、大切な「失敗」をたくさん経験するためには、たくさんの挑戦が必要です。「失敗」は成功の反対ではありません。本当の失敗は「挑戦しないこと」、面倒臭いといって「行動を起さない」ことです。逆に、何回失敗しようと、あきらめずにチャレンジし続ける人はすでに成功している人達なのです。「失敗」は成功の一部なのです。

英検を受けたら落ちた、しっかり練習を積んで部活の大会に出たけど一回戦で負けた、気合い入れて準備した試験で思うような点数がとれなかった、部活の部長になったけどクラブを上手くまとめられなかった、卒業研究で実験をやっても失敗の連続でデータが取れなかった、学会で研究発表したけど質問に答えられなかった、……。思い出したら涙がでるようなこともあるかもしれません。しかし、「失敗」が人を育てます。「失敗」が人を強くします。「失敗」が人を賢くします。

学生時代に失敗してもとがめる人はいません。高専生活には挑戦する種がたくさん転がっていますよ。さあ、挑戦するかどうかはあなた次第です。やりもしない前からできないと決めつけることほど不幸なことはありません。思い切って行動をおこしてください。挑戦してください。そして、多いに「失敗」をしましょう。



日々の学習を大切に!

副校長（教務主事） 山崎 誠

新入生、保護者の皆様、入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、「あなたは長岡高専に何を求めて入学して来ましたか?」、「卒業後の夢は何ですか?」と聞かれたら、今どんな回答をするでしょうか? その答えをこれから5年間の高専生活で繰り返し思い出して下さい。初心を大切に、一日一日を大事にして長岡高専での学校生活を送って下さい。

長岡高専は工業系の学校です。この分野の勉強は、学習の積み上げが大事です。高学年の授業は低学年で学んだことを土台にしています。低学年で学ぶ基礎科目の学習が大切です。基礎力を着実に身につけ、応用力を獲得するには、繰り返し学習し、理解を深めることが大原則です。高専は中学校や高校と違い、大学と同じ高等教育機関で、専門的な内容を早い時期から学ぶのが大きな特長です。高専では自ら考え、学ぶ姿勢も強く求められます。学ぶ力を身につけることが重要です。

技術者には人間力も必要です。特に、現代の技術者は海外での仕事も多く、英語力やコミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化理解などの国際性も重要です。幸い、長岡高専には多くの留学生がいっしょに学んでいます。また、学生海外派遣研修の機会もあります。多くのチャンスがあります。私は、今年1月にマレーシアに行き、高専に留学する学生が学ぶ予備教育センターで集中講義を1週間担当する機会がありました。マレーシアの学生達が、日本で学ぶことに大きな夢を持って真剣に学習に取り組む姿勢を強く感じました。また、将来彼らとともに皆さんが高専で学び、お互い刺激し合って成長することを頼もしく思っています。

豊かな人間性を育てるには、多くの友人をつくり、いろいろな人たちと交流することです。皆さんは、1年生の時は学科の枠を取り払った混合学級でスタートします。第2学年以降は学科別のクラス編成になりますが、この1年は他学科の友人をつくるには絶好の機会です。

皆さんは、思考が柔軟で発想豊かな10代から技術者を目指して勉強を始めることができます。技術者への道のりは地道であり、日々の学習が基本と私は考えています。勉強を着実に進めるためには、高専生活での目標を立てて日々努力することです。私たち教員も一緒に学び、皆さんを支援します。

新入生を迎えて



未来はこれからの努力で決まる!

校長補佐 (学生主事) 坂井 俊彦

ご入学おめでとうございます。

「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる」。これは京セラやKDDIの創業者で、日本航空を再建した、日本を代表する実業家である稲盛和夫氏の言葉です。皆さんが長岡高専に入学できたのは、皆さんの、これまでの努力の成果です。そして、本校卒業後、どんな会社に就職するか、どんな大学に進学するかは、これからの本校での5年間の努力によって決まります。

5年間はおよそ1825日(5×365)です。この1825日は今日から一日、一日と減っていきます。減っていく一日、一日をプラスに変え、自身の成長へと結びつけるのは、稲盛氏が言われている努力です。5年後に大きく成長しているか否かは、1825日をどのように過ごしたかにかかっています。そしてこの成長が、皆さんの未来を決定づけていくことになります。

今、社会では、コミュニケーション力、協調性、実行力、企画力など、様々な能力が求められます。これらは教室内の授業だけでは身につけません。これらは多くの人との関わり、仲間と共に一つのものを作り上げていくといった経験によって培われます。授業は本校における土台部分なので、しっかり勉強してもらわなければなりません。皆さんは、クラブ活動、学生会、学校行事、ボランティアなど、授業以外の様々な活動にも積極的に参加し、多くの人と接してください。そうすれば、知らず知らずのうちにコミュニケーション力、協調性、その他様々な能力が身に付いていくでしょう。また本校では、海外からの多くの留学生が学んでいます。文化や歴史の違う世界の国々を知る絶好のチャンスです。留学生とも交流を深め、チャンスがあれば、海外研修にも参加してみてください。

5年間は思ったほど長くはありません。早速、今日からいろいろなことにチャレンジしていきましょう。そうすれば、1825日後には、きっと大きく成長した自分に会えるに違いありません。



入学おめでとう

校長補佐 (寮務主事) 吉野 正信

入学おめでとうございます。いろいろな期待に胸膨らませての登校、その初心を忘れることなく勉学にいそしんで

いただき、充実した学園生活を送っていただければと存じます。

新入生の三分の一ほどの方は、学内の高志寮、または清

花寮に入寮し、約350名の仲間とともに生活します。15歳から20歳まではいろいろなことを最も柔軟に吸収できる時期です。良い友達をいっぱい作り、一生付き合えるような友人関係を築いていただければと思っております。そうは言うものの15歳の皆さんには、20歳の5年生あるいは22歳の専攻科生はえらいおじさんに見えるのではないのでしょうか。また、日本人だけではなく海外からの留学生も20名ほどおります。夏休みくらいまでは全てのことが目新しく、また、おつかない先輩に囲まれた息苦しいところかもしれません。そんな寮ですが、どうか物怖じすることなく、上級生とも、留学生とも多に語り合って皆様方の知識を増やし、大人になってください。5月の連休を過ぎる頃には、すっかり寮に慣れた自分がいることでしょう。

ここで皆さんにお願いします。寮において団体生活をします。寮生活を通して社会を認識し、良識を重んじてください。そのためには、教養を身に付けてください。本を読み、立派な友達を見つけ、切磋琢磨してください。人と一生懸命かかわってください。しかしながら、決して流されることなく自主的に行動してください。頭を支える体も鍛えてください。一日を大切に、充実した5年間であってください。



専攻科変革のときに

校長補佐 (専攻科長) 鈴木 秋弘

専攻科入学おめでとう!今年度、学士認定の審査方式が変わります!新たな審査方式は、実質的な審査の対象を申請者個人(学生)から専攻科(学校単位、長岡高専は3専攻)へ移行させるものです。

具体的な変更点は、学位認定試験の廃止(「学修成果レポート」の提出およびそのレポートに関する「小論文試験」がなくなる)です。但し、「専攻科修了=学位授与」ではありません!(独)大学評価・学位授与機構の定める「学修総まとめ科目」の履修とトータル124単位以上の科目修得が必要です。そして、専攻科における厳格な成績評価が行われていることが前提となります。

この新たな審査方式が適用されるのは、平成26年度専攻科入学生(現2年生)からです。上記の変化は、平成12年長岡高専に設置された「認定専攻科」が、「特例適用専攻科」になったことを意味します。

特例適用の認定は、設置以来14回の修了生レビューの実績と周囲のバックアップの賜物だと思います。一方、今後も科目の内容、担当教員、成績評価基準等の審査は継続されます。「質の保証」が要求されるのです。

大丈夫です!専攻科生、担当教員に対するメリットは大きく、これまで以上に、じっくりと腰を据えた研究が可能となります。そもそも、私たちの研究の目標は、学士認定のためでなく、もっとその先にあるのですから!!!

新入生学級担任からのメッセージ



新入生へのメッセージ

1年1組担任 占部 昌蔵

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今、皆さんはこれから始まる長岡高専での生活に希望を抱いていることでしょうか。同時に、新しい環境なので、ここでの生活に不安を抱いている人も多かもしれません。ただ、このような心情は上級生もほぼ同じでした。一日も早く、この学校に慣れるようにしましょう。

学校生活がスムーズにスタートできるように、私の考える長岡高専の特徴とアドバイスをあげてみます。まず、長岡高専は一般的な高校と比べると、自由度が大きい学校です。この自由度はむしろ大学に近いです。ただ、その自由と一緒に付いてくるのが責任です。例えば、長岡高専における学業は大変厳しいものですが、仮にあなたが思うような良い成績が取れないとしても、それは誰か他人のせいではなく、あなた自身の責任だということです。もう一点のアドバイスとして、日々の生活の中で「ブレない心、柔軟な対応」を心がけてみてください。この紙面では、詳しくは説明しません。機会をみてお話ししようとは思っています。是非、自分自身でもよく考えてみてください。そして、実践して欲しいものです。

最後に、5年後皆さんがここ長岡高専を卒業していく時に、「ここにきて良かった」と思えるよう充実した学校生活を送れるよう心がけてください。期待しています。



多角的な視点を持つ

1年2組担任 米崎 啓和

新入生のみなさん、ご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。様々な期待と不安を胸に入学されたことと思います。しかし、皆さんは今日から長岡高専の学生です。誇りを持ち、多くのことに熱中し、よき友人関係を築き、学生生活を楽しみながらも、自らの夢の実現に向けて日々努力していきましょう。これからの高専での学習・生活について皆さんに期待したいことは、自分から挨拶できる人になろう、毎日の授業に遅刻せず出席し授業中は積極的に参加しよう、などに始まり山ほどありますが、ここではもう少し「将来なってほしい人物像」というより大きな視点からの話をしたいと思います。それは、「多角的な視点を持ち、価値観の多様性を認められる人」になってほしいということです。そのためには「常識を疑う力」を養成す

ることが肝心です。常にいろいろな場所にアンテナを張り、多くの書物を読み、いろいろな違った考え方を持った人の意見を聞き、複数の情報源をもつことが必要です。そして、他者の意見を一步下がって聞ける力をつけてほしいものです。そのためには、目標に向かって進むとき、A地点からB地点への最短距離を選ぶのではなく、あえてまわり道をする人になってください。まわり道にこそ貴重な体験がもりばめられていることが多いものです。AからBに至るまでのプロセスを大事にし、道端でいろいろなものを拾い上げながら前進する人になってください。また、失敗から学べる人になって下さい。私は是非、皆さんに、いろいろな苦労や経験を積み、自分の未来のために自らを磨く人になってほしいと思っています。これからの高専生活が、将来の礎となるような5年間を期待しています。



身近なチャンスを大切に

1年3組担任 小川 秀

「教養とは、学校で勉強したことを全て忘れた後に残るもののことです。」これは相対性理論で有名なアインシュタインの言葉です。新入生の皆さんはこの言葉をどのように解釈しますか？

この言葉は学習した事柄の周囲にあるものに焦点をあてているように思えます。皆さんが学校に通う期間は一生のうちで限られた一時です。学校を卒業してしばらくたった時、自分自身に残っているものとは何でしょうか？…経験から得た知識や技でしょうか、あるいは様々な思い出や友情でしょうか。これらはいずれも私たちの内面をも豊かにしてくれます。学校では学業を中心として友人と出会い、いろいろな経験ができます。そして学生時代は人生における可能性と方向性を見出す貴重な機会ともなりえます。予期せぬ「人との出会い」が人生を変えたという話をよく耳にしますが、実際そのチャンスは意外と身近にあるものです。クラス・寮・クラブ・学生会など周囲の活動に顔を出すことが自分の「可能性」を広げてくれるはずですよ。

冒頭の言葉の「全て忘れた後に残るもの」には、学ぶ過程での「努力や工夫」も含まれるように思います。たとえ記憶した内容は忘れ去っても、目標に向かって近づく方法は自分の中に着実に備わります。新たな出発点に立つ皆さんには、ぜひ「教わる」「憶える」の先にある「学ぶこと」を意識して欲しいと思います。その入り口としては、自分が興味をもっている科目です。身近な学習科目のうちで何か1つでも得意分野が見つければ占めたもの！一番近くにある今をよく見つめ、一步一步歩んでください。



自分次第

1年4組担任 佐藤 秀一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。中学校卒業後の進路として、皆さんは長岡高専を選びました。社会に出るまでの大事な時期の多くを高専で過ごす決断をされたわけですね。高専を選択した理由は何でしょう？

きっとそれぞれに、何らかの特別な思いや目標があって高専を選んだのだと推察します。実際、高専には一般の高校にはない貴重な体験をする機会や環境が用意されています。日常の学習活動にせよ、課外活動にせよ、高専ならではのものが少なからずあります。ただし、そういった体験を真に将来の自分のために活かせるかどうか、それは皆さん自身の意識の持ち方に随分左右されることでしょう。高専でのいろんな活動を楽しみつつ、それに加えて近い将来あるいは遠い将来のため、自分が今どうあるべきかということも、たまには考えましょう。5年間は長いです。いろいろなことがやれる5年間ですし、のんびり過ごすこともできる5年間です。卒業時に皆さんがどんな変貌を遂げているか、楽しみにしています。

さしあたって低学年の皆さんのやるべきことは学校生活に慣れること、寮生の皆さんであれば寮生活になれることだと思います。そして、学業面での基礎固め。高専の勉強の多くは「積み重ね」が必要ですから、低学年での皆さんの地道な努力は後で必ず生きてきます。頑張りましょう。

この2つは私も生活の中で意識していることです。私も皆さんの高専生活が楽しく、充実した日々になるお手伝いを精いっぱいしていきます。これから楽しく充実した長岡高専での日々を一緒に送りましょう。これからよろしくお願ひします。

第1学年学科クラス担任

本校ではこれまで入学学科ごとにクラス編成をしていましたが、平成26年度入学生から、第1学年に限って、全学科の学生の混合クラス編成を行っています。全学科共通科目の授業は混合学級のクラスで、専門科目の授業は各学科に分かれて行っています。第2学年からは所属学科によるクラス編成になりますが、最初の年に自分の所属学科にこだわらずに築いた交友関係は、あらゆる面で役に立つことが期待されます。

第1学年における混合学級の導入に伴い、1組から5組の学級担任（一般教育科教員）のほかに、学科クラス担任を設けています。学科クラス担任とは、1年生が学科別の編成になって専門科目の学習をする際に、その支援窓口となる教員で、各専門学科の教員が担当します。

平成27年度第1学年の学科クラス担任は次のとおりです。



楽しく!! 充実した日々を!!

1年5組担任 桐生 拓

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これからの日々に期待と不安を持ってこの長岡高専に入学してきたのではないのでしょうか。さて、これから5年間みなさんは長岡高専でもに学んでいきます。桐生流、五年間を充実させるための秘訣を2つだけ紹介します。

ひとつは「目標」を持って生活しましょう。「こんな風に自分はなりたい」「〇〇をできるようになりたい」といった具合に、自分なりの目標をまず立ててみましょう。人と比べる必要は全くありません。自分が将来どうなりたいか、それが大切です。そして目標があればそれに向かって行動ができます。いろんな事にこれから挑戦するために、まずは「目標」を立ててみてください。

もうひとつはぜひいろいろな事に「興味」を持って生活してみてください。友達、勉強、スポーツ etc いろんなことに興味を持って生活をすると、毎日次々と新しい発見があって、楽しく充実した日々になります。毎日をなんとなく過ごすのではなく、毎日小さな発見を積み重ねて高専生活を送っていると、5年後はきっと今では想像がつかないくらい成長した姿で卒業式を迎えることができるでしょう。



機械工学科
山岸 真幸



電気電子システム工学科
樺澤 辰也



電子制御工学科
高橋 章



物質工学科
菅原 正義



環境都市工学科
田中 一浩



新入生のための施設紹介

学生相談室はこんな所です

学生相談室長 猪平 直人

「学生相談室」は、学内組織の名称でもあります。写真の「学生相談室」は、2号館1階保健室の隣にあります。全学科に教員の相談員がおり、看護師・カウンセラーも「学生相談室」のスタッフです。学生の皆さんは、教員を直接訪ねて悩みを相談することも、2号館「学生相談室」でカウンセリング（週2日、予約制）を受けることもできます。カウンセリングは保護者の皆様もご利用になれます。電話やメールでも相談できます。どこに相談するかわからない時は、まず保健室に来てみてください。詳しい利用方法は、別紙「学生相談室だより」か、本校ホームページをご覧ください。

相談内容は、勉強、人間関係、心や体の不調など、どんなことでも構いません。相談の秘密は厳重に守られ、本人や関係者の同意を得て、問題解決の手助けをすることもできます。

辛い気持ちや悩みを聞いてほしい時、皆さんの隣には私たちがいます。ぜひ学生相談室をご利用ください

図書館=勉強・読書+交流・くつろぎ空間

図書館長 河田 剛毅

図書館には1階と2階があります。本がたくさん並んでいる閲覧室は2階です。高専での勉強に必要な専門書、学習参考書はもちろん、一般書籍、文学書籍、雑誌等、多数取り揃えています。ちょっと変わったところでは英語の絵本コーナーがあります。これは英語多読用の教材としても利用されているもので、読みやすさ別に区分されているので自分のレベルに合わせて気軽に読むことができます。テーブル・椅子も設置されているので、静かに読書・勉強したいときもこの閲覧室でどうぞ。一方、1階はもう少し自由・気楽に使えるスペースとなっており、数人で話し合いながら学習できる「グループ学習室」、レイアウト変更可能なテーブル席が設置されている「学習コーナー」、新聞・雑誌が置いてある「ブラウジングコーナー」、パソコンでの情報検索等が行える「情報検索室」があります。さらに最近、もっと気楽に利用してもらえよう、お菓子・パン類を食べてもOKな「多目的コーナー」をオープンしました。使い方はあなた次第。大いに有効活用してください。

総合情報処理センターでできること

佐藤 秀一 竹部 啓輔 上村 健二 渡邊 雅博

総合情報処理センターでは、本校のネットワーク全体を管理しています。これによって、皆さんは校内や寮などから様々なネットワークサービスを受けることができます¹⁾。学生全員にメールアドレスが配布され、そのメールの送受信をインターネットを利用して遠隔地から行ったり、携帯電話に転送するように設定することができます²⁾。また、センター内のデジタルカメラ・大型プリンターなどのマルチメディア関連機器も利用できます。6号館5階にあるWebカメラからの風景画像の配信サービスも行っています³⁾。センター端末室は、授業の無い空き時間や放課後に一部開放していますのでご利用下さい。どうぞ、当センターを活用し、有意義な高専生活を送ってください。

1) <https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/>

2) <https://webmail.nagaoka-ct.ac.jp/>

3) <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/webcam/>

Expand Your Knowledge and Diversity Joining『地球ラボ』

(前) 地球ラボ室長 大湊 佳宏

本校キャンパスの国際化を目指し、平成19年度にオープンした地球ラボの取り組みは、まず日本人学生と留学生の交流です。長岡市国際交流協会や「地球広場」と協力しながら、様々な学生相互の交流活動の情報発信を行っています。二つ目には、本校英語科と協力をして、語学学習支援に取り組んでおり「校内英語エッセーコンテスト」は、今年度で7回目の開催となります。人前では話すことは苦手でも、英語で意見を「作文」という形で発信し、実力を試すことのできるコンテストです。最後に、高専低学年から高学年の壁を越えて、更には国籍の壁を越えて、自・他国の文化や習慣について討論やプレゼンを行う授業「国際関係学演習」を提供しています。留学生と日本人学生が授業内で関わることで、見えなかったものが別の角度から見えてくるようになります。この授業の一環として、12月に朱鷺メッセで開催される「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」に参加しています。



平成27年度 2015 行事予定



入学式



新入生歓迎クワラ



遠足



夏祭 キャンプファイア



体育祭 玉入れ



体育祭 パンくい競争



学園祭 露店



学園祭

学校

- 4月1日(水)～5日(日) …… 春季休業
- 4月6日(月) …… 入学式
- 4月7日(火) …… 始業式 専攻科履修ガイダンス
課外活動報告会 午後:学生会行事
- 4月8日(水) …… 前期授業開始
- 4月9日(木)～10日(金) …… 学科第1学年合宿研修
- 4月下旬 …… クリーン作戦
- 5月8日(金) …… 専攻科推薦入試
- 5月14日(木) …… 学生会行事
(予備日:5月21日(木))
- 5月15日(金) …… 専攻科推薦合格発表
- 5月18日(月) …… インターンシップガイダンス①
- 6月1日(月) …… 開校記念日
- 6月2日(火)～5日(金) …… 学科第1～3学年 前期中間試験
- 6月13日(土) …… 専攻科学力入試
- 6月18日(木) …… 歯科検診日
- 6月19日(金) …… 専攻科学力入試合格発表
- 6月19日(金) …… 専攻科学位授与申請ガイダンス
- 6月27日(土) …… 学科第1学年合同保護者会
- 6月27日(土)～7月20日(月) …… 関東信越地区高専体育大会
本校開催種目:7月12日(日) 剣道
- 7月3日(金) …… 専攻科フォーラム
- 7月24日(金)～30日(木) …… 前期末試験

- 7月30日(木) …… インターンシップガイダンス②
- 8月上旬 …… 校内大清掃
- 8月7日(金)～9月27日(日) …… 夏季休業
- 8月8日(土)～9日(日) …… オープンキャンパス
- 8月14日(金)～30日(日) …… 全国高専体育大会
(開催地:九州地区)
- 8月27日(木)～29日(土) …… 関東信越地区高専文化発表会
(茨城高専)
- 9月10日(木)～14日(月) …… 学科第1～4学年保護者会
- 9月24日(木)～30日(水) …… 関東信越地区高専専攻科合同
フレッシュセミナー
- 9月28日(月) …… 後期始業式
- 9月29日(火) …… 後期授業開始 (学科4学年以外)
- 9月29日(火)～10月2日(金) …… 学科第4学年見学旅行
- 10月1日(木) …… 学科第3学年工場見学
- 10月5日(月) …… 後期授業開始 (学科4学年のみ)
- 10月8日(木) …… 防災訓練
- 10月14日(水) …… 学生会行事
- 10月中旬 …… クリーン作戦
- 10月30日(金) …… 午前補講 午後未工祭準備
- 10月31日(土)～11月1日(日) …… 未工祭
- 11月2日(月) …… 未工祭後片付け



行事

- 11月25日(水)……………学科第4学年編入学試験
(臨時休業日)
- 11月26日(木)～12月1日(火)……学科第1～3学年 後期中間試験
- 12月2日(水)……………学科第4学年編入学合格発表
- 12月上旬……………学生総会
- 12月10日(木)……………学生会行事
- 12月中旬……………校内大清掃
- 12月25日(金)～1月6日(水)……冬季休業
- 1月7日(木)……………授業再開
- 1月13日(水)～15日(金)……学科第2学年スキー合宿
- 1月14日(木)……………校内一斉試験の日
- 1月19日(火)……………学科第1学年推薦入試・
専攻科社会人特別選抜
(臨時休業日)
- 1月22日(金)……………専攻科特別研究発表会
- 1月26日(火)……………学科第1学年推薦入試・
専攻科社会人特別選抜 合格発表
- 1月28日(木)～29日(金)……卒業研究発表会
- 2月15日(月)～19日(金)……学年末試験
- 2月21日(日)……………学科1学年学力入試
- 2月中旬……………校内大清掃
- 2月26日(金)……………学科1学年学力入試合格発表
- 3月7日(月)～18日(金)……臨時休業日

- 3月14日(月)～18日(金)……学科第4学年保護者会
- 3月19日(土)……………第50回学科卒業式
第15回専攻科修了式
- 3月20日(日)～31日(木)……学年末休業

寮行事

- 4月2日(木)～4日(土)……指導寮生・寮友会合宿研修
- 4月5日(日)……………開寮
- 4月6日(月)……………新入寮生懇談会、歓迎夕食会
- 4月下旬……………寮生総会・対面式
- 5月14日(木)……………寮防災避難訓練
- 6月19日(金)～21日(日)……寮祭
- 8月12日(水)……………閉寮
- 9月11日(金)～14日(月)……寮生保護者会
- 9月27日(日)……………開寮
- 12月25日(金)……………閉寮
- 1月6日(水)……………開寮
- 1月9日(土)～10日(日)……冬寮祭
- 3月5日(土)……………閉寮

学生会長・ 寮長から新入生へのメッセージ



新入生へアドバイス

学生会長 伊藤 涼平

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
高専生活を楽しむために、僕からアドバイスがあります。
まず一つ目、勇気を出して積極的にたくさんの人と関わって
みてください。入学時はいろんな人と友達になれるチャンスです。ぜひ、いま
までの友達にいなかったようなタイプの人にも話かけてみてください。きっと視
野が広がり、新しい自分が見つけれられると思います。知り合えた人達は、いつの
間にか大切な仲間達になっているはずですよ。

二つ目は部活動や学生会、いろんなイベントに積極的に参加してください。高専生活を楽しむために、たくさんのことを自分から楽しんでみましょう。自分にプラスになること、マイナスになること、いろいろあると思いますが、何かしなければ何も変わることはありません。何事も楽しむ意識が大切です。長岡高専の先輩たちは、そんな皆さんのことをやさしく受け入れてくれます。困ったことがあったら先輩に尋ねてください。そうしていれば、きっとたくさんの人と関わり、充実した日々になっているはずですよ。

高専生活5年間を精一杯楽しんでください。

皆さんが悔いのない、楽しい高専生活を過ごすことを心から応援しています！



チャレンジあるのみ

高志寮寮長 高橋 知也

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。中学とも違い、普通の公立校ともちょっと違う高専への入学に、期待や不安等、様々な思いがあると思います。高専と他の学校との大きな違いは自由なところですよ。見た目の自由さはもちろん、多種多様な部活、学生会など学業以外のことにもとても広い選択肢があります。僕はその中で自分に一番合うものを見つけるために大事なことは、いろいろなことにチャレンジすることだと思っています。幸いにも高専生活は普通の高校と比べ、2年間も長い学校生活を楽しむことができます。

そのためにも、寮生活はとても素晴らしいものだと思います。寮生活にはいくつもメリットがあります。通学にほとんど時間がかからないこと、仲間たちと長い時間を共に過ごせること、楽しいイベントがたくさんあること、そして高専生活の楽しみ方を知っている先輩たちが大勢いることです。おそらくみなさんは家族と離れて生活をするという経験はほとんどないと思います。それによって不安に感じることもあるかもしれませんが、ですが、それはあなただけではありません。同じようにその不安を乗り越えてきた先輩たちと、これから日常を共にする仲間たちを信じて、一緒に寮生活を楽しみましょう。



新入生のみなさんへ

清花寮寮長 越 ほの花

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。私が入学した時には、授業が長いとか、赤点が普通高校より高いとか、また、寮生活に馴染めるかなー？ など、不安が多かったことを覚えています。私のこれまでの高専生活では、楽しかったこともあれば後悔したこともあります。

私が皆さんに伝えたいことは、たくさんのことに挑戦して、それが自分にとって良い経験になるように努力して欲しいということです。後悔するくらいだったら、挑戦してからにしましょう！

5年は長いと思うでしょうが、あっという間ですよ。その5年間を有意義なものにするか否かはあなた次第です。自分のクラスだけでなく、部活動や学生会を通して、他学科や他学年のみんなと仲良くなれば、きっと楽しいことが待っているでしょう。

最後になりましたが、通学生の皆さんにも寮に入ることを勧めます。上級生と関わりあえますし、イベントもたくさんあります。必ず、必ず将来の糧になります。約束します。今よりもっと多くの方が寮に入り、楽しさを知ってもらえたらいいなと思います。

ぜひ、良い高専生活を送ってください。



学生会役員紹介

学生会長 電気電子システム工学科4年 伊藤 涼平
学生会副会長 物質工学科4年 荒木 俊太郎
学生会副会長 電子制御工学科4年 小山 陸

総務部	部長	物質3年	寺尾 玲都
	副部長	機械2年	馬場 拓飛
会計部	部長	制御3年	曾根森之介
	副部長	電電4年	黒川 佳穂
外交部	部長	電電3年	戸倉 和生
	副部長	電電3年	細川 和真
部活動推進支援部	部長	機械3年	佐藤 大樹
	副部長	物質3年	小林 奈央

広報部	部長	物質2年	佐藤 悦人
	副部長	制御5年	金塚 裕也
体育委員会	委員長	電電3年	山口 雅人
	副委員長	機械3年	池田 遥一
文化委員会	委員長	電電3年	笠原 匠
	副委員長	制御5年	大川 隼杜
整備厚生委員会	委員長	環境3年	佐藤 璃奈
	副委員長	環境3年	藤間 楓

学生会役員からのメッセージ

副会長 物質工学科4年 荒木 俊太郎

新入生の皆さん、5年間はあっという間に過ぎて行きます。ですから学校行事、部活動、校外活動、なんでも構いません。様々な活動に挑戦してみてください。何事にも積極的に取り組んで密度の濃い5年間にしましょう。

副会長 電子制御工学科4年 小山 陸

自分が皆さんにお願いすることは、たった一つです。面白い人間になってください。その面白さを活かして目立ち、輪の中心になることができる人間に自分になってほしいと思います。将来を見据えて勇気を出して新たな隣人に声をかけてみてはいかがでしょうか。

総務部長 物質工学科3年 寺尾 玲都

総務部ではおもに、評議会・学生総会の企画運営や、役員会での議事録の作成、メーリングリストの管理などを行っています。学生の皆さんがよりよい学生生活を送れるように活動していきたいと思っています。1年間よろしくお祈りします。

会計部長 電子制御工学科3年 曾根 森之介

会計部の主な業務は、各部活動・委員会からの支出依頼の受付と処理、年度予算の作成などです。迅速な処理を心がけ、皆さんの助けになれるよう取り組んでいきたいと思っています。現在、人手が足りていない状況です。興味がある人は是非会計部に入ってください。

外交部長 電気電子システム工学科3年 戸倉 和生

学生会外交部では、他の高専との窓口として活動しています。交流会など行って交流を深めたりしております。高専に入ったことを誇りにして、高専らしい生活、高専らしい勉強、高専らしい部活などにいそいで日々を楽しんでください。皆さんの高専生活を楽しくしております。

部活動推進支援部部長 機械工学科3年 佐藤 大樹

部活動推進支援部では部活動の様々な推進支援活動を行っています。今年も各部、同好会が活発に活動出来るように全力で努力します。ぜひ部活動・同好会の活動にも積極的に参加して高専ライフを楽しんで下さい！

広報部長 物質工学科2年 佐藤 悦人

広報部では学生会HPや学園祭特設HPの作成と運営、校内の新聞作り、その他行事の宣伝を主に行っております。学生会はた

くさんの面白い行事がやっているので、掲示板などをチェックして積極的に参加してください！そのためにも多くの人に学生会の行事を正確に伝えられるように頑張っていきたいと思っています！

体育委員長 電気電子システム工学科3年 山口 雅人

体育委員会は、クラスマッチや体育祭の企画・運営を行っています。他部署に比べて仕事が多く大変ですが、やりがいのある仕事です。また、体育委員になるといろんな人と関わることできます。同志諸君、私と共に仕事と戦おう！

文化委員長 電気電子システム工学科3年 笠原 匠

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。文化委員会では季節に応じ、遠足やさまざまなコンテスト等のイベントを行っています。是非参加してください。また、興味のある方は一度来てみてください。

整備厚生委員長 環境都市工学科3年 佐藤 璃奈

整備厚生委員会では構内の美化活動や花いっぱいコンクールに向けた活動を行っています。花植え時にはボランティアを募集するので興味のある人は参加してみてください。

図書委員長 電気電子システム工学科3年 安原 雅貴

図書委員会は学生と図書館の架け橋となり、多くの学生に図書館に来館してもらえるように、図書だよりの作成や図書館関係のイベントの企画運営をしています。充実した図書館ライフをおくれるよう頑張りますのでよろしくお祈りします！

学園祭実行委員長 機械工学科4年 志田 弘喜

この委員会では、大イベントである学園祭の企画、運営を行っています。今年は未工祭です。楽しく、華やかで、高専にしかできない、そんな学園祭にできるようみんなアイデアを出し合い頑張りましょう。とても楽しい行事ですので、是非積極的に参加してください。

文化発表会実行委員長 物質工学科3年 小池 みさき

文化発表会とは年に一度、関東信越地区の高専の文化部が集まりダンスや作品などお互いの活動内容を発表しあうイベントです。今年の開催地は茨城です。より多くの方に参加し、楽しんでいただきたいと思います！

体育クラブ

陸上競技部 ①

ご入学、おめでとうございます。さて、自分を高めたい。自分に自信を持ちたい。がんばる楽しさを感じたい。元気に生きたい。けじめよく生きたい。そんな皆さん、陸上やりませんか？

山岳部

山岳部は日常活動では学校の周りを走って体力をつけ、夏休み等に登山を行っています。山頂からの眺めはまさに絶景です。登山が好きな人、登山をやってみたいと思う人は是非入部してください。

バスケットボール部

新入生の皆さん、高専へようこそ。バスケット部の目標は、高専全国大会で優勝することです。そのために、日々練習に励んでいます。中学でバスケットをしていた人はもちろん、初心者も大歓迎です。ぜひ見学に来てください。

バレーボール部

バレーボール部は部員13名で火～木曜日の放課後に第2体育館で楽しく練習しています。昨年は高専全国大会に出場しました。バレーをやっていた人、興味のある人は是非見に来てください！

テニス部

(硬式) テニス部は部員全員一生懸命に活動を行っています。「テニスしてみたいな～」と思った人、初心者の方でも練習すれば、どんどん上手くなれると思います。経験者も歓迎します。君もあの松岡…や錦織になれる！気になった方ぜひテニスコートに見学しに来てください。

ソフトテニス部

ソフトテニス部です。活動は週5日間でを行っています。体験でもいいので気軽に来てみてください。経験者の人はもちろん、初心者の方でも大歓迎です！！

卓球部

春の地区大会では良い結果が出ず、悔しい思いをしました。しかし、練習を積み重ね、新人戦では団体で県大会進出まで果たしました。卓球部が気になったのなら、ぜひ一度入部を！楽しいです。明るいですよ。

サッカー部

こんにちは、サッカー部です。サッカー部は、いつも楽しく明るい雰囲気の中で日々の練習を頑張っています。サッカーに興味があってやる気のある人はぜひサッカー部に入部してみてください。

柔道部 ②

柔道部です。僕たちは毎日柔道場で高体連の他に高専大会というものに向けて練習しています。柔道に、あなたはどんなイメージを持っていますか？柔道は日本の伝統的な武道で硬いイメージがあるかもしれませんが、皆、体を鍛えたい、高専で運

動を始めてみたいなどいろいろな理由で入部しています。気軽に見学に来てください。

剣道部

剣道部は部員数約10人で、練習日は月水木の週3回で部活を行っています。練習時間は16:30から1時間程度でありきついことはしません。軽い運動がしたいと思っている人、初心者の方や女性の方でも大歓迎です。また、剣道部は他の部活と兼部しても全然構いません。趣味や勉強との両立ができます。そして、剣道はお金がかかってしまうイメージがあると思いますが、実際、防具や胴着は一回買うと長く使えるのでそれほど高くはないと思います。少しでも剣道に興味がある人は是非いらしてください。

バドミントン部 ③

バドミントン部は、みんな楽しく、それぞれの目標に向かって努力する部活です。女子は全国高専大会に出場、男子はダブルスで市民大会優勝など活躍しています。新入生のみならず是非バドミントン部に来てみてください。

スキー部

スキー部は雪がなくてもみんなでも野球などして活動し、冬は合宿などでスキー検定をとります！初心者の方も大歓迎です！

ハンドボール部 ④

こんにちは！ハンドボール部です！僕たちは、全国高専大会を目指して日々活動しています。正直マイナーなスポーツでイメージが湧きにくいかもしれませんが、やると楽しいです！ぜひ体験に来てください！

水泳部 ⑤

ようこそ長岡高専へ、水泳部です。充実した練習を一年間通じてしており、心も体も成長できます。連続して総合優勝していて、高専全国大会に出場しています。初心者も大歓迎です。一緒に、全国を目指しましょう！！

硬式野球部

こんにちは。硬式野球部は現在、選手13名、マネージャー2名で活動しています。学年問わずとても仲が良く、毎日楽しく活動しています。経験者も初心者も関係なく興味がある人は、ぜひ足を運んでください。選手と一緒に頑張ってくれるマネージャーも大歓迎です。

アーチェリー部

「安全に楽しく」モットーに活動しています。高専に入ってからアーチェリー始めた人ばかりなので、気軽にアーチェリー部に来てみてください。みんなでアーチェリーを楽しもう！

ゴルフ部 ⑥

ゴルフ部は主に平日に3回ほど悠久山ゴルフパークで練習をしています。練習場は見晴らしが良いので、実験や授業で溜まったストレスも球と共に飛んでいきます！たまにコースに出



て練習の成果を確認したりします。学生時代にゴルフを行うという貴重な経験をしたい方は是非入部してください。

フットサル部

フットサル部は週2回第2体育館で活動を行っています。試合を中心に学年やクラス関係なく楽しくフットサルをしています。女子マネージャーもぜひお待ちしております！みんなで楽しくフットサルをしましょう！

ダンス同好会

ダンス同好会DancingZは、学祭や文化発表会*などでダンスを披露します。踊ること、リズムにのって体を動かすことが好きな人はぜひ見学、体験しに来てください。男女共に大歓迎！わたしたちと楽しく踊りましょう！

文化クラブ

吹奏楽部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。吹奏楽部は校内での演奏会や県内の大学生との合同演奏に向け、日々楽しく活動しています。楽器経験がない人でも大歓迎です。ぜひプール脇の部室に立ち寄りみてください。

美術部

美術部では点描画や粘土を使った造形作品、七宝焼きなど幅広い分野での作品製作活動を行っています。部員の中には男子や兼部している方も多いため気軽に見学へ来てください。

写真部

写真部です。写真部は、学校行事や撮影旅行などで撮影活動をしています。コンテストなどにも出展しています。新入生の皆さん、写真という形で学園生活の思い出を作りませんか！

インターアクトクラブ

皆さん、入学おめでとうございます。インターアクトクラブでは国際交流とボランティアなどを行っています。留学生と交流してみたかったり、ボランティアをしてみたいという人はぜひ入ってみてください。

電算機部

今まで見たことのないものを創ってみませんか？例えば、スマホで動くオリジナルアプリ。アプリケーションの制作やプログラミングの大会にも出場しています。ぜひ来てください！(ワイワイ)

文芸部

年3回の部誌作成に加え、不定期に季節誌の発行をしています。また、一年を通して演劇の練習を行っており、文芸*や文化祭などの場では実際に公演も行っています。小説を書きたい方、演劇に参加したい方、どちらでも大歓迎です。興味のある方は是非見学に来てみてください！

軽音楽部

弾き語りからメタル、ロックやJ-POPまで、あなたの好きな音楽を仲間と楽しくやってみませんか。活動に縛りはないので気軽に入部してみてください。楽器未経験者も経験者も大歓迎です！

ロボティクス部

今年度、私達はロボットに関する数多くの大会に出場しました。私達の部活は仲間たちとの協力を通じて、ものづくりをより楽しむことができる部活です。私達と一緒に自分のものづくりに没頭してみませんか？

英語部

高専で充実した学校生活を送る上で欠かせないのが部活動です。英語部では外国のボードゲーム・カードゲームや英検対策など、英語を使ったいろいろな活動をしています。また、ここ数年は文芸*にも出場し、日ごろの活動を紹介したパネルや、地元の魅力をパネルにまとめたもの等の展示を行っています。とにかく英語が関わっていればOK！もし部活動で悩んでいるという人がいたらぜひ一度英語部に来てみてください。英語の得意・不得意を問わず来てくれる人は大歓迎です！

化学部

化学部は、文化発表会*や学園祭、オープンキャンパスの企画を盛り上げるために実験に取り組んでいます。また、1～3年生は新潟県化学インターハイに参加して、毎年賞をもらっています。

書道部

書道部では、年に2回ある出展に向けて作品作りをしていますが、普段は部員で楽しく活動しています。部員の人は優しいので初心者の方もぜひ部室に来てみてください。

デザイン部

デザイン部では、主に毎年11月に行われる『デザコン』に向けて活動しています。ものづくりが好きな方、興味がある方は是非、3号館4階構造実験室まで遊びに来てみてください。

制御システム研究同好会

私たち制御システム研究同好会では、主に電子回路やプログラミングで動作するロボット、ラジコンカーなど様々なマシンを各個人で自由に製作しています。土日以外ほぼ毎日活動でき、見学も自由なので気軽に部室へ足を運んでみてください。

模型同好会

模型・プラモデルが趣味の方におススメなのが模型同好会です。主に鉄道模型のレイアウトを作り鉄道模型コンテストに参加しています。模型趣味の方はもちろん、初心者も大歓迎です！

* 文化発表会 (文芸)

関東信越地区高専文化発表会のことをいい、平成27年度は、茨城高専が担当校として実施される予定です。



専攻科だより

1年を振り返って



電子機械システム工学専攻

宮下 渉

専攻科に入学してから1年が経ちました。この1年を振り返ってみるととても短かったように感じます。今まであまりなかった他学科との関わりが増えたり、授業では課題やプレゼン発表を行う授業が多くなり大変でした。しかし、そのおかげでプレゼンに対する慣れなどが多少は身につく、多くの課題をこなすために時間の大切さを学びました。夏休み中のインターンシップでは2週間の研修を通じて、社会人としての常識など、社会に出てからの大切なことを学びました。また、普段の生活を見直すきっかけにもなり、人として成長したのではないかと思います。

残り1年、研究や就職活動などで忙しくなると思いますが、最後の学生生活になるかもしれないので、悔いの残らないように過ごしていきたいです。



電子機械システム工学専攻

齋藤 光大

専攻科に入学してから1年が経ちました。入学してからの1年間は課題と研究に追われる日々が続き、あっという間だったような気がします。それと同時に非常に有意義な1年間だったと感じています。

専攻科の授業では課題とともにプレゼンを行うことが多くありました。課題をこなしつつ毎週のように資料を作り、壇上で発表し、質問に答えるというのはなかなか大変なものでした。しかし、こうした経験が人前で発表することへの自信につながっていきました。特に研究発表の場でこうした経験が役立っていることを実感します。専攻科での経験はプレゼンにとどまらず多くの経験をしました。それが生きる機会も多くありました。

少しでもいいから幅広く、多くの経験をつむことが自分の自信につながります。これから多くの経験をし、それを生かしていきたいと思えます。



電子機械システム工学専攻

大橋 勇斗

専攻科に入学して、早くも1年が経ちました。この1年は他学科から進学してきた仲間に刺激を受けたり、インターンシップで海外へ行ったりと大きく成長できた1年となりました。一方で、常に授業の課題に追われ、研究や大学院入試のための勉強に時間を割けず、自

身の時間管理能力の無さを感じた1年でもありました。計画的に課題や研究を行うことができているならば、納得のいく成績や研究成果が出ていたのではないかと反省しています。今年度は研究の成果を出す必要があり、大学院入試もあります。研究成果を出し、希望する大学院に合格するためにも、時間の管理をしっかりと行い充実した日々を過ごしていきたいと思えます。また、入試や将来のためにTOEICも良い点数を取る必要があります。この1年の間に何回か受験しましたが、高専ではない大学生が当たり前取る点数にはまだまだ及ばないため、こちらも頑張りたいと思えます。



物質工学専攻

金山 広輝

専攻科生になって1年が経ちました。毎日が光陰矢のごとく過ぎ去りました。

専攻科生になるとそれまで先輩がやっていた研究室の掃除やゴミ捨てなどをやるようになり、周りのために行動する能力が向上しました。

しかし研究では「頑張れば何とかなる」という甘い考えがあり、地道に実験してデータを集めました。しかし専攻科生は「頑張る」だけではダメです。先生方は授業や5年生の指導などで忙しいため、短く・正確に伝えるコミュニケーション能力がないと、研究の進展に関わります。専攻科2年になり、私も進路のことで忙しくなるので、報告は短く・正確にできるよう努力します。

自分に足りない能力は何なのか把握することができ収穫も多い1年でした。あと1年しか高専で過ごす時間がありません。学業や進路に対し全力で取り組むだけでなく、人間としてより大きく成長していきたいです。



環境都市工学専攻

佐々木 悠祐

専攻科に入学して早くも1年が経ちました。専攻科の魅力は、変わらない環境で勉学を続けられることであるため、入学前は本科の頃とあまり変わらない生活になるだろうと想像していたのですが、実際に入学してみると、授業内での課題やプレゼンの機会が多かったり、全学科合同の実験があったりなど、本科の頃とは違う点が多くあり、自分の考えていた以上に新鮮で、忙しい1年となりました。

中でも、プレゼンの機会が多いのは、プレゼン発表が苦手な私にとってはなかなか大変だったのですが、いろいろな授業で何度も発表を行うことで、昔に比べて多少は発表に慣れることができ、いい経験になったと思えます。

現在、私は修了後の進路として就職を考えています。就職が決まった場合、今年で学生生活は終わりとなるため、残りの1年を勉強と遊びの両方で悔いのないように過ごし、充実した年にしたいと思います。

平成27年度第1学年入学者選抜実施報告

平成27年度第1学年入学者選抜は、推薦による選抜を本校及び県内2か所（新潟市、上越市）に会場を設け実施し、学力検査による選抜については、推薦選抜の会場に東京会場を加えた4会場で実施しました。また、今回は帰国子女特別選抜も本校会場で実施しました。今年度の志願者は合わせて337名と昨年度を上回り、競争率は定員200名に対し、1.69倍となりました。

平成27年度入学者選抜では、推薦による選抜、学力検査による選抜、帰国子女特別選抜合わせて226名の合格者のうち、所定の入学手続きを行った211名に入学を許可しました。

● 全体

学科別	機械	電気電子	電子制御	物質	環境都市	合計
志願者数*	64	47	76	70	80	337
合格者数	45	45	45	46	45	226
入学定員	40	40	40	40	40	200
志願倍率**	1.6	1.18	1.90	1.75	2	1.69

* 志願者数：最終的に合格となった学科を志望学科として整理しています
 ** 志願倍率：定員に対して算出しています

■ 推薦による選抜

平成27年1月20日に推薦による選抜を実施しました。80名程度を定員としているところに特別推薦志願者3名を含む151名が志願しました。推薦書、調査書、面接（特別推薦は更にプレゼンテーション）による選抜を行った結果、86名を合格とし、1月27日に合格発表を行いました。

■ 学力検査による選抜，帰国子女特別選抜

平成27年2月15日に学力検査による選抜（理科、英語、

数学、国語、社会の5教科）が全国の国立高専で一斉に実施されました。また、同日、帰国子女特別選抜を本校で実施しました。理科、英語、数学、国語の4教科と面接を行いました。

選抜の結果、帰国子女特別選抜を含めて合計140名を合格とし、2月20日に合格発表を行いました。

平成27年度第1学年 出身中学校所在地別入学者一覧

出身中学校所在地	入学者数	学科別内訳					
		機械	電気電子	電子制御	物質	環境都市	
県内	長岡市	101	18	19	23	22	19
	新潟市	32	8	11	4	5	4
	見附市	13	4	4	3	0	2
	三条市	13	1	3	1	4	4
	小千谷市	9	1	1	1	1	5
	上越市	8	3	0	1	1	3
	柏崎市	7	3	1	2	1	0
	魚沼市	6	1	1	2	0	2
	加茂市	4	0	0	1	3	0
	村上市	3	0	0	1	0	2
	燕市	2	1	1	0	0	0
	妙高市	2	0	0	1	1	0
	十日町市	2	1	0	1	0	0
	阿賀野市	2	0	0	2	0	0
	南魚沼市	1	1	0	0	0	0
新発田市	1	0	0	0	1	0	
県外	埼玉県	3	0	1	0	2	0
	長野県	1	0	1	0	0	0
	タイ	1	0	0	0	1	0
入学者計	211	42	43	43	42	41	

TOPICS

■ 各種受賞者（前年度の学年で表記）

- 第29回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会 スピーチ部門 2位
機械工学科3年 豊島 果恋
- 第4回新潟県化学インターハイ
最優秀高等学校（日本化学会関東支部長賞） 長岡工業高等専門学校
最優秀チーム（新潟日報社賞） Brønsted
総合優勝（NST賞） Brønsted 準優勝 RbCl
実験総合 準優勝 Brønsted
筆記試験種目 優勝 RbCl 準優勝 Brønsted
上級実験種目 準優勝 Brønsted
中級実験種目 優勝 RbCl
（参加チームメンバー）
Brønsted：物質工学科3年 伊佐 猛、木花 将、佐野 友美
R b C l：物質工学科3年 田原 海、中島 優一、三上 和也
- 第14回日本情報オリンピック予選 敢闘賞
電子制御工学科2年 川又 健太郎
電子制御工学科2年 中島 英
電子制御工学科2年 平澤 祐太
- 第54回富士フィルムフォトコンテスト フォトブック部門 大賞
環境都市工学科4年 坂詰 康也
- 第40回全日本スポーツチャンバラ選手権大会 橋長剣初段以上 優勝
環境都市工学科3年 三浦 崇
- 第19回長岡市花いっぱいコンクール 優秀賞
長岡工業高等専門学校（整備厚生委員会）
- 2014年度日本高専学会研究奨励賞 最優秀賞
物質工学専攻1年 金井 綾香
- 平成26年度独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰
物質工学専攻1年 金井 綾香

■ 高志台消息

平成27年3月31日付け

現職名	氏名	異動内容
一般教育科教授(社会)	佐藤 公俊	定年退職
一般教育科教授(数学)	涌田 和芳	//
一般教育科教授(ドイツ語)	相原 勝	//
機械工学科嘱託教授	近藤 俊美	雇用期間満了退職
物質工学科嘱託教授	丸山 一典	//
教育研究技術支援センター技術職員	知野広太郎	//
電気電子システム工学科准教授	矢野 昌平	教員交流 (長岡技術科学大学へ)

平成27年4月1日付け

異動前職名等	異動内容	氏名	異動後職名
	採用	堀口真利子	一般教育科准教授(国語)
	//	富樫 瑠美	一般教育科助教(数学)
	//	工藤 慈	機械工学科助教
	//	島宗 洋介	電気電子システム工学科准教授
新潟大学施設管理部	//	渡邊美奈子	教育研究技術支援センター技術職員
一般教育科教授(社会)	再雇用	佐藤 公俊	一般教育科特任教授(社会)
一般教育科教授(数学)	//	涌田 和芳	一般教育科特任教授(数学)



■ 校内一斉試験

到達度試験 (数学)

数学の試験は高専で習う内容をいくつかの領域に分け、高専ごとに6つ以上の領域を選択し受験することになっています。本校の場合は3年生の12月までに習った8領域(「数と式の計算」,「方程式・不等式」, …, 「空間ベクトル, 行列の計算」)を選択しています。領域別(1領域50点満点)に見ると,「微分・積分の計算」,「微分・積分の応用」,「空間ベクトル, 行列の計算」の平均点が全国平均よりそれぞれ2.1点, 4.0点, 3.4点低かったのですが, 他の5つの領域では0.4点~2.7点(平均で1.22点)全国平均より高い結果となりました。

TOEIC-IP テスト

平成27年1月15日の一斉テストで, 4年生(現5年生)と専攻科1年生(現専攻科2年生)を対象にTOEIC-IPテストを実施し, 総勢240名が受験しました。4年生全体の平均点は383.2(日本人学生のみ376.2)で, 専攻科1年生の平均点は417.8でした。昨年度に比べて, 平均点はそれぞれ約25, 40ポイント上昇しました。また, 昨年度の全国高専4年生全体の平均点は341で, 本校は4年生で42.2ポイント, 専攻科1年生では33.8ポイント上回っています。

■ 卒業研究発表会

平成27年1月28日, 29日に, 卒業研究発表会が本校を会場に開催されました。各学科の5年生が, 4年生の後期より1年半の時間をかけて行ってきた各自の研究成果について口頭発表を行いました。各学科の発表会場においては4年生や専攻科生も参加して, 活発な討論が繰り広げられました。発表会に参加した4年生においても会場からの質問に対する5年生の受け答えを見ることで, これからの卒研で必要になる課題解決の方法を考える良い機会ともなりました。

■ スキー合宿研修

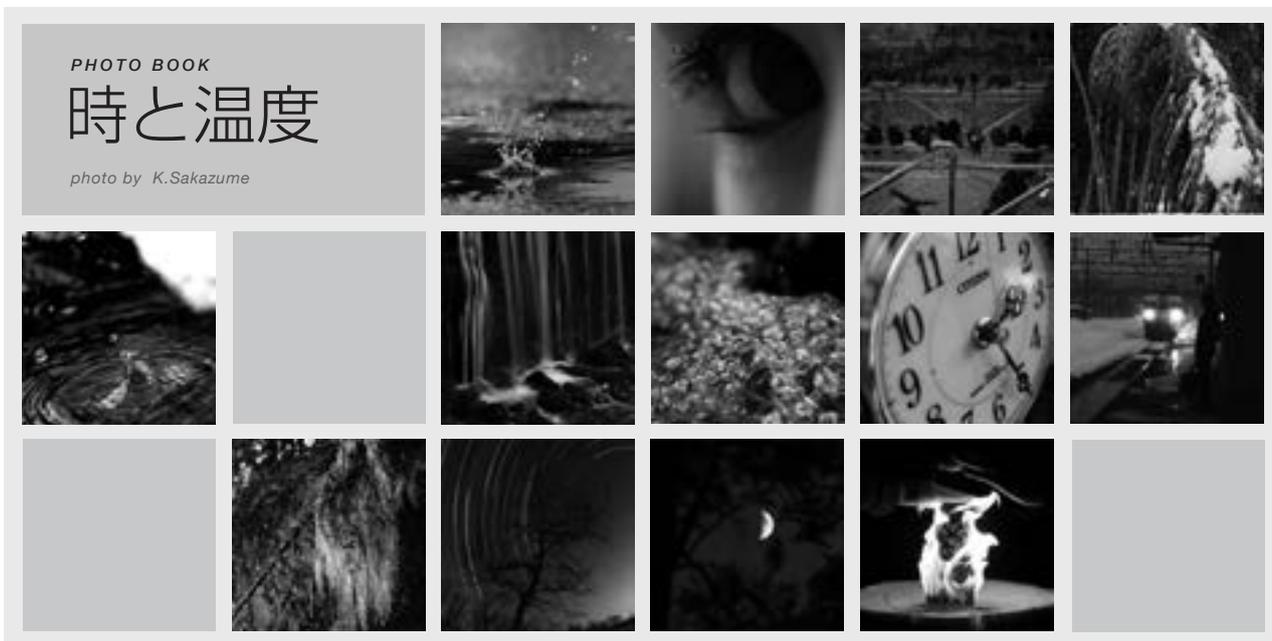
2学年スキー合宿研修を平成27年1月14日から1月16日まで2泊3日の日程で実施しました。現地の上越国際スキー場では, 2日目の午後こそ雪が降りましたが, それ以外雪は降らず, 初日などは快晴で, 天候に恵まれました。初心者クラスから上級者クラスまで合計15班に分かれ, スキースクールの講師から実技指導を受けながら, 存分にスキーを楽しむことができました。講師の方々の指導は丁寧で, 最初はホテルの周りを滑っていた初心者たちも3日目にはスキー場の上の方まで行くことができるようになり, 技術も向上しました。

■ 第54回富士フィルムフォトコンテストで本校学生が「大賞」を受賞

平成27年2月20日, 第54回富士フィルムフォトコンテストの結果が発表され, 写真部の坂詰康也君(環境都市工学科)の作品「時と温度」が, 「フォトブック部門」で最高賞にあたる「大賞」を受賞しました。同コンテストは, 自由写真部門・ネイチャーフォト部門・フォトブック

部門・特別テーマ部門の4部門から構成され, 応募総数は35,181点に及びました。坂詰君は, 「優れた作品が数多く集まる中, 今回大きな賞をいただくことができ大変嬉しく思います。今後の写真部の活躍にもご期待下さい。」と受賞の言葉を述べてくれました。受賞作品は, 下記の「富士フィルムフォトコンテスト」公式ホームページでご覧いただくことができます。

<http://www.fujifilm.co.jp/fpc/54/photobook/index.html>



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき, より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した身やすいユニバーサルフォントを採用しています。

